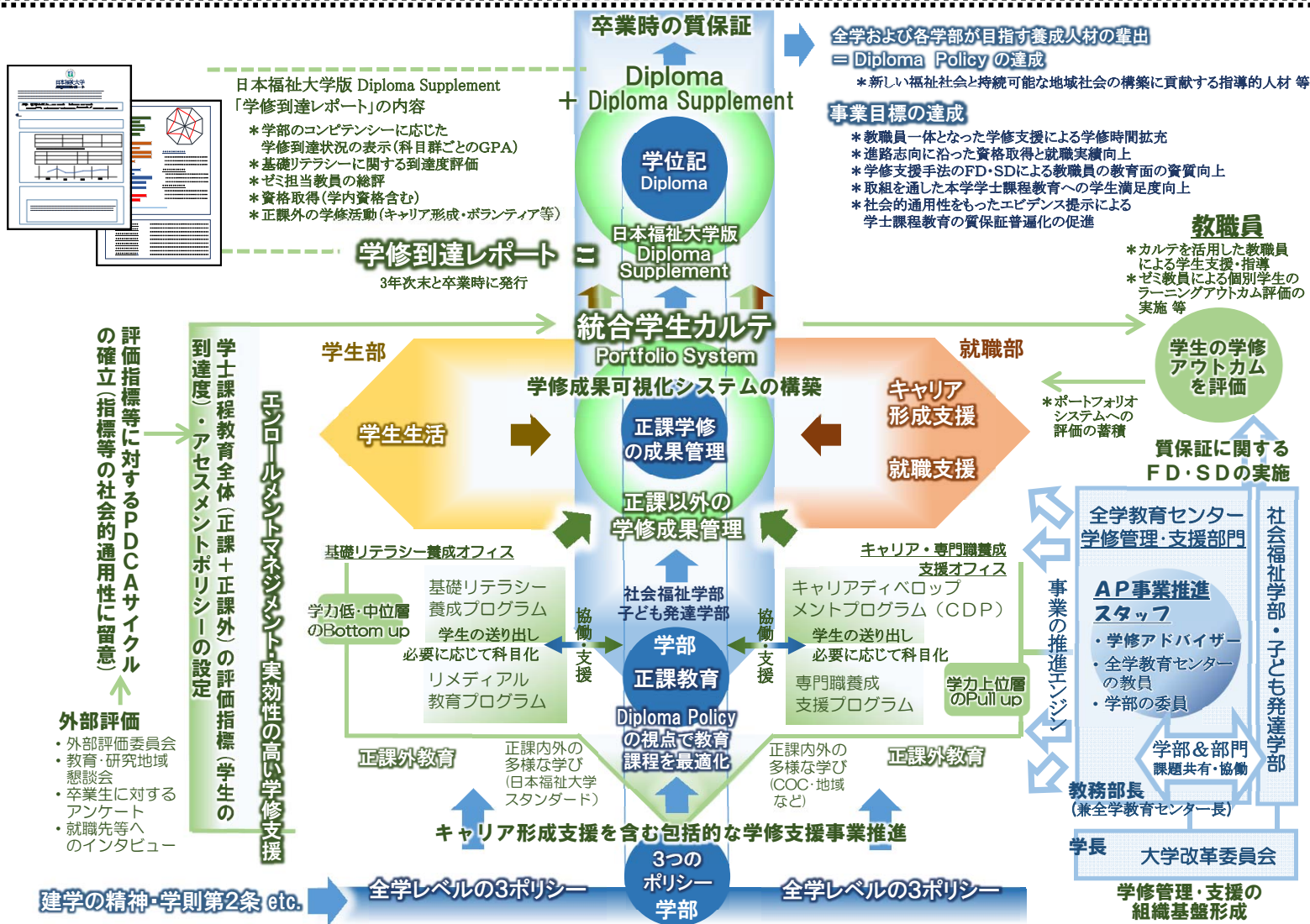


大学等名：日本福祉大学

テーマ：テーマV（卒業時における質保証の取組の強化）

系統的履修体系の確立に向けてディプロマ・ポリシーと整合のとれた正課教育全体の最適化を進め、その上で学部の正課教育を中心に、キャリア形成や学生生活、基礎リテラシーを含む、学士課程教育全体の中での学生の修了時の学修到達状況を説明できるツールとして日本福祉大学版ディプロマ・サプリメント「学修到達レポート（仮称）」を発行し、卒業時の質保証を行います。それを支える取組として、①個々の学生に対して、教務、就職、学生生活の3つの側面から学修到達状況を表示する「統合学生カルテ」と学修成果を蓄積するポートフォリオシステムにより進展される学修成果の可視化、②それを踏まえた毎年次のラーニング・アウトカム評価の実施、③総合的な学修支援機関「学修管理・支援部門」と学部との協働によるエンrollmentマネジメントの組織的推進、を有機的に関連させながら推進することで、学士課程教育の一層の実質化を図ります。



・統合学生カルテにより可視化される正課内外の学修成果を踏まえて、①学修管理・支援部門を中心とした実効性の高いエンrollmentマネジメントと、②学修到達レポートによる卒業時の質保証が両輪で実現されることにより、カリキュラムマップを用いて継続的に取り組んできた系統的履修体系の実質化が加速する。

・事業実施により、全学部において教職員が組織的に学生個々の成長を支援するための基盤形成を形成することで、大学全体としての①学修時間の拡充、②進路志向に沿った就職実績の向上、③教職員の教育面での資質向上が促進される。

【事業の成果】		27年度 (実績値)	28年度 (目標値)	29年度 (目標値)	31年度 (目標値)
学生の授業外学修時間 (1週間当たり)	社会福祉学部	4.57時間	5.0時間	6時間	10時間
	子ども発達学部	5.10時間	5.5時間	6時間	10時間
卒業生追跡調査の実施率 (調査回答者数/卒業生数)		実施なし	15%	17%	25%
標準年限内卒業率	社会福祉学部	84%	85%	86%	88%
	子ども発達学部	85%	86%	87%	90%